

# 台風対策

## 台風にならえて 避難する時の注意点

※風雨の中での作業は危険です。事前にすませておきましょう。

### ●屋内

- 停電にそなえ、懐中電灯やラジオを用意。
- 避難にそなえ、非常持出品の準備を。
- 台風情報を注意深く聞く。
- むやみに外出しない。
- 断水するといけないので、飲料水を確保しておく。
- 浸水のおそれがある時は、家財道具などを高い場所へ移動。
- 病人や乳幼児、身体の不自由な人を安全な場所へ。



### ●屋根

- 瓦にひびが入っていたり、割れていたり、ずれていないか。
- トタンがめくれている、はがれていないか。

### ●窓ガラス

- ひび割れていたり、窓枠が、がたつかないか。また強風による飛来物にそなえて、外側から板でふさぐなどの処置を。

### ●雨どい・雨戸

- 雨どいに落ち葉や土砂がつまっていたり、雨戸にがたつきやゆるみはないか。

### ●ベランダ

- ベランダの鉢植えなどや物干し竿など動くものは家の中へ。家の周囲は整理整頓し、風で物が飛ばないように。

### ●外壁

- モルタルの壁に亀裂はないか。
- 板壁が腐っていたり、浮いていたりしないか。



## 身の回りの危険な場所を知っておこう

東日本大震災以降、広く知られるようになった「ハザードマップ」。これは地図上で被害予測や避難場所など指示した地図のことです。各自治体でも作成されていてインターネットから手軽にみることができます。自分が今住んでいる場所が、

**どんな災害の危険性があるのか。**  
**避難場所はどこなのか。**  
**家族や周りの人たちとも情報を共有しておきましょう。**



## 「避難準備情報」とは

### 避難準備・高齢者等避難開始

- 避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合
- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
  - その他の人は、避難の準備を整えましょう。

### 避難勧告

- 災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合
- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
  - 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

### 避難指示

- 災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合
- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
  - 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。  
 また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

### Howto<sup>なで</sup>

動画でもっとわかりやすく!  
 暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



### How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

